

野村高金利国際機関債投信 (毎月分配型)

愛称：グローバルアシスト

運用報告書(全体版)

第106期(決算日2019年4月15日) 第107期(決算日2019年5月15日) 第108期(決算日2019年6月17日)
第109期(決算日2019年7月16日) 第110期(決算日2019年8月15日) 第111期(決算日2019年9月17日)

作成対象期間 (2019年3月16日～2019年9月17日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、運用開始以来永らくご愛顧いただきましたが、2020年5月15日に信託期間満了となります。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2010年5月27日から2020年5月15日までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国（新興国を含みます。）の通貨建ての債券を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。	
主な投資対象	野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）	ノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA	国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国（新興国を含みます。）の通貨建ての債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
	野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
分配方針	野村マネー マザーファンド	株式への投資は行いません。
	毎決算時に、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
82期(2017年4月17日)	4,966		30	△3.9	0.6	—	97.0	5,286
83期(2017年5月15日)	5,205		30	5.4	0.7	—	97.5	5,507
84期(2017年6月15日)	5,087		30	△1.7	0.8	—	98.1	5,333
85期(2017年7月18日)	5,205		30	2.9	0.7	—	97.3	5,414
86期(2017年8月15日)	5,067		30	△2.1	0.6	—	96.8	5,198
87期(2017年9月15日)	5,201		30	3.2	0.7	—	98.3	5,246
88期(2017年10月16日)	5,087		30	△1.6	0.7	—	97.6	5,074
89期(2017年11月15日)	4,887		30	△3.3	0.6	—	97.7	4,803
90期(2017年12月15日)	4,945		30	1.8	0.7	—	96.8	4,790
91期(2018年1月15日)	5,120		30	4.1	0.6	—	96.2	4,878
92期(2018年2月15日)	4,961		30	△2.5	0.6	—	96.9	4,679
93期(2018年3月15日)	4,928		30	△0.1	0.7	—	97.2	4,518
94期(2018年4月16日)	4,870		30	△0.6	0.6	—	98.0	4,414
95期(2018年5月15日)	4,662		30	△3.7	0.5	—	97.1	4,208
96期(2018年6月15日)	4,416		30	△4.6	0.5	—	96.1	3,923
97期(2018年7月17日)	4,532		30	3.3	0.4	—	97.0	3,982
98期(2018年8月15日)	4,081		30	△9.3	0.5	—	97.2	3,555
99期(2018年9月18日)	3,933		30	△2.9	0.9	—	97.4	3,404
100期(2018年10月15日)	4,085		30	4.6	0.8	—	97.8	3,513
101期(2018年11月15日)	4,014		30	△1.0	0.8	—	97.5	3,395
102期(2018年12月17日)	3,994		20	0.0	0.9	—	96.7	3,284
103期(2019年1月15日)	4,029		20	1.4	0.8	—	97.1	3,290
104期(2019年2月15日)	4,060		20	1.3	0.8	—	96.0	3,279
105期(2019年3月15日)	4,048		20	0.2	1.0	—	96.6	3,238
106期(2019年4月15日)	4,109		20	2.0	1.2	—	97.3	3,253
107期(2019年5月15日)	3,952		20	△3.3	1.1	—	96.3	3,097
108期(2019年6月17日)	3,892		20	△1.0	1.1	—	97.1	2,992
109期(2019年7月16日)	4,026		20	4.0	1.1	—	96.9	3,055
110期(2019年8月15日)	3,762		20	△6.1	1.1	—	95.9	2,814
111期(2019年9月17日)	3,842		20	2.7	1.4	—	95.8	2,820

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 投資信託証券組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンドスーブラナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

* 新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
第106期	(期 首)	円	%	%	%	%
	2019年 3 月15日	4,048	—	1.0	—	96.6
	3 月末	3,930	△2.9	1.0	—	96.8
	(期 末)					
第107期	2019年 4 月15日	4,129	2.0	1.2	—	97.3
	(期 首)					
	2019年 4 月15日	4,109	—	1.2	—	97.3
	4 月末	4,013	△2.3	0.9	—	96.6
第108期	(期 末)					
	2019年 5 月15日	3,972	△3.3	1.1	—	96.3
	(期 首)					
	2019年 5 月15日	3,952	—	1.1	—	96.3
第109期	5 月末	3,878	△1.9	1.1	—	97.2
	(期 末)					
	2019年 6 月17日	3,912	△1.0	1.1	—	97.1
	(期 首)					
第110期	2019年 6 月17日	3,892	—	1.1	—	97.1
	6 月末	3,975	2.1	1.0	—	96.4
	(期 末)					
	2019年 7 月16日	4,046	4.0	1.1	—	96.9
第111期	(期 首)					
	2019年 7 月16日	4,026	—	1.1	—	96.9
	7 月末	4,011	△0.4	1.0	—	95.9
	(期 末)					
第112期	2019年 8 月15日	3,782	△6.1	1.1	—	95.9
	(期 首)					
	2019年 8 月15日	3,762	—	1.1	—	95.9
	8 月末	3,646	△3.1	1.0	—	96.9
第113期	(期 末)					
	2019年 9 月17日	3,862	2.7	1.4	—	95.8

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

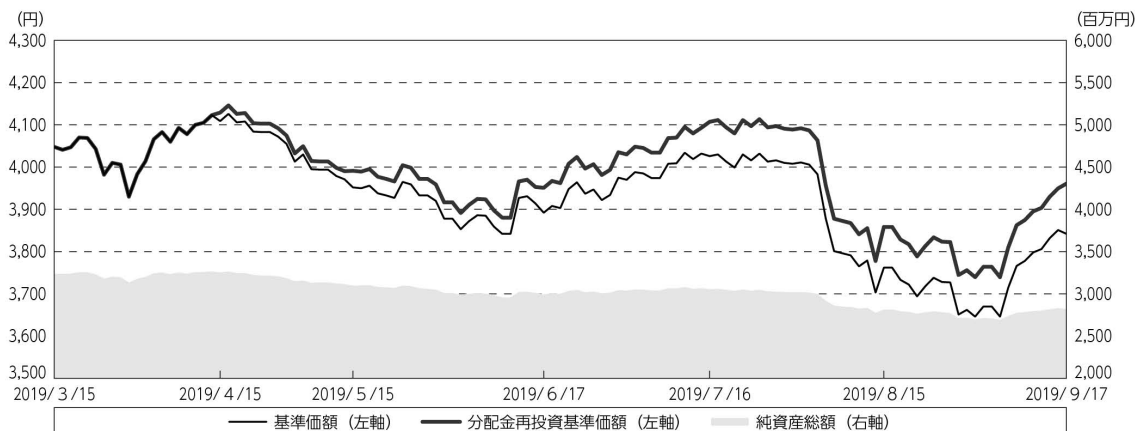
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 投資信託証券組入比率は、「ノムラ・カレンシー・ファンド・スーブラナショナル・ボンドークラスA」の組入比率を記載しております。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第106期首：4,048円

第111期末：3,842円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：△2.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2019年3月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、第106期期首の4,048円から第111期期末には3,842円（分配後）となりました。この間、合計120円の分配金をお支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は86円となりました。

（上昇要因）

- ・保有する債券からの利息収入

（下落要因）

- ・ブラジルレアルや南アフリカランドなどが対円で下落したこと

○投資環境

当作成期は、投資を行ったブラジルレアル、南アフリカランド、メキシコペソはいずれも対円で下落しました。

世界経済の減速懸念から各国の中央銀行が緩和姿勢を強める中で、日本は他国と比較して緩和余地が小さいと見られていることや、安全資産への逃避の流れから、円がほとんどの通貨に対し堅調に推移しました。

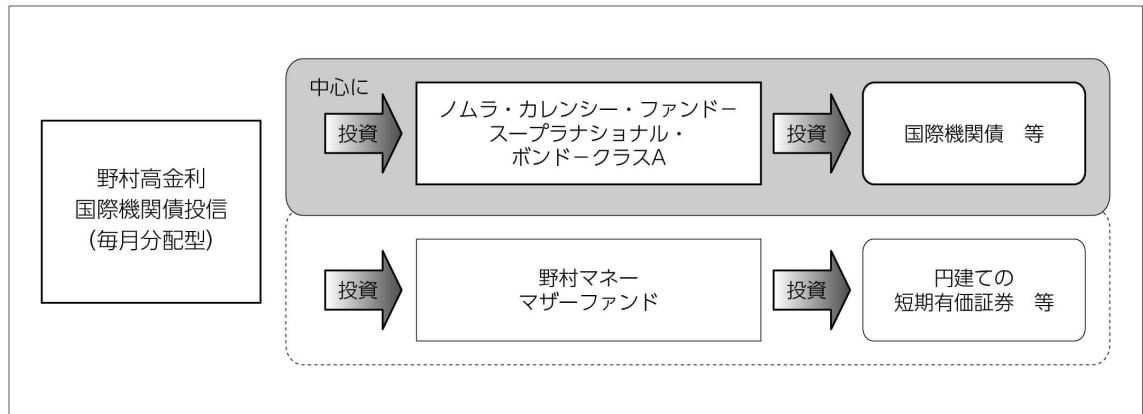
ブラジルでは、年金改革を巡る議会の動きが通貨に影響を与えました。ボルソナロ大統領が提出した十分に厳格な内容の年金改革法案が、法案内容を過度に希薄化させることなく議会で可決される見通しとなったことを市場は好感しましたが、米中の貿易摩擦問題に端を発する世界的な成長減速懸念の高まりから、通貨は対円で軟調に推移しました。

南アフリカでは、総選挙や大手格付会社による格付け見直しの動向が市場の注目を集めました。5月に実施された総選挙においては、与党ANC（アフリカ民族会議）が過半数を獲得し、ラマポーザ大統領が従来の改革路線を継続する見通しとなったことを市場は好感しました。しかし、依然として米大手格付会社による格付けや見通しの引き下げを懸念する見方が市場に根強く存在することから、通貨は対円で軟調に推移しました。

○当ファンドのポートフォリオ

ファンドの仕組み（ファンド・オブ・ファンズ方式）

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕は、〔ノムラ・カレンシー・ファンドースー
プラナショナル・ボンドークラスA〕受益証券および〔野村マネー マザーファンド〕受益
証券を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。



〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕が投資を行う各受益証券の投資比率については、通常の状態においては、〔ノムラ・カレンシー・ファンドースープラナショナル・ボンドークラスA〕受益証券への投資を中心とし、概ね90%以上を目処とします。

〔ノムラ・カレンシー・ファンドースープラナショナル・ボンドークラスA〕

国際機関が発行する、信用力の高い債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、選定した通貨によるポートフォリオを構築し、当該通貨への投資効果を追求します。

〔野村マネー マザーファンド〕

主として、円建ての短期有価証券等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕**＜投資信託証券等の組入比率＞**

〔野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）〕は、当作成期を通して資金の流入出に応じて〔ノムラ・カレンシー・ファンドスープラナショナル・ボンドークラスA〕受益証券を売買し、概ね高位の組入れを行いました。〔ノムラ・カレンシー・ファンドスープラナショナル・ボンドークラスA〕受益証券と〔野村マネー マザーファンド〕受益証券の組入比率は、それぞれ当作成期末時点で95.8%程度、1.8%程度としました。

〔ノムラ・カレンシー・ファンドスープラナショナル・ボンドークラスA〕**＜ポートフォリオ＞****組み入れ通貨の選定**

金利水準やファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）等を勘案した結果、組み入れ通貨の変更は行っておりません。当作成期末時点の組み入れ通貨はブラジルレアル、南アフリカランド、メキシコペソとなっております。

通貨別配分

当作成期首には、通貨比率の順位を南アフリカランド、メキシコペソ、ブラジルレアルとしました。

・ブラジル

当作成期首には、中央銀行の堅実な金融政策運営や経常赤字が低水準で推移している点などを評価したものの、財政健全化に向けた年金改革法案成立までの道のりが市場の見通しより不透明であると判断し、ブラジルレアルの比率を低位としました。作成期間中には、法案内容を過度に希薄化させることなく議会で可決される見通しとなり国内政治情勢の不透明感が後退したことから、ブラジルレアルの比率を中位に引き上げました。

・南アフリカ

当作成期首には、ラマポーザ政権が汚職根絶や財政収支の立て直し、慢性的な業績不振に喘ぐ国有企業の改革などを掲げ続けていることを好感した他、世界的にリスク資産が回復する中での新興国通貨全般に対する強気な見方を反映し、南アフリカランドの比率を高位としました。作成期間中には、米中の貿易摩擦問題を巡る対立が激化したことを受けて世界的に成長減速懸念が高まったことにより、市場の急激な変化に対する南アフリカの脆弱性が意識されやすいと考え、南アフリカランドの比率を中位に引き下げました。その後も不透明感が継続する中で、ブラジルレアルとの相対感に基づき、南アフリカランドの比率を低位に引き下げました。

・メキシコ

当作成期首には、高水準のインフレ率に対する中央銀行の断固とした引き締め姿勢や、低迷する原油価格にもかかわらず財政収支が改善している点、恒常的な経常移転黒字により経常収支が安定している点などを評価し、メキシコペソの比率を概ね高位で維持しました。

当作成期末時点での通貨比率は、メキシコペソ34.3%、ブラジルレアル33.6%、南アフリカランド32.4%、その他の通貨-0.3%としました。

組み入れ債券と信用格付け配分

当作成期を通して、AAA格の国際機関が発行する債券（国際機関債）を中心とした資産配分としました。またデュレーション（金利感応度）*は、2年以内を維持しました。

*デュレーション：金利がある一定の割合で変動した場合、債券・資産の価格がどの程度変化するかを示す指標です。この値が大きいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が大きくなり、またこの値が小さいほど金利変動に対する債券・資産価格の変動率が小さくなります。

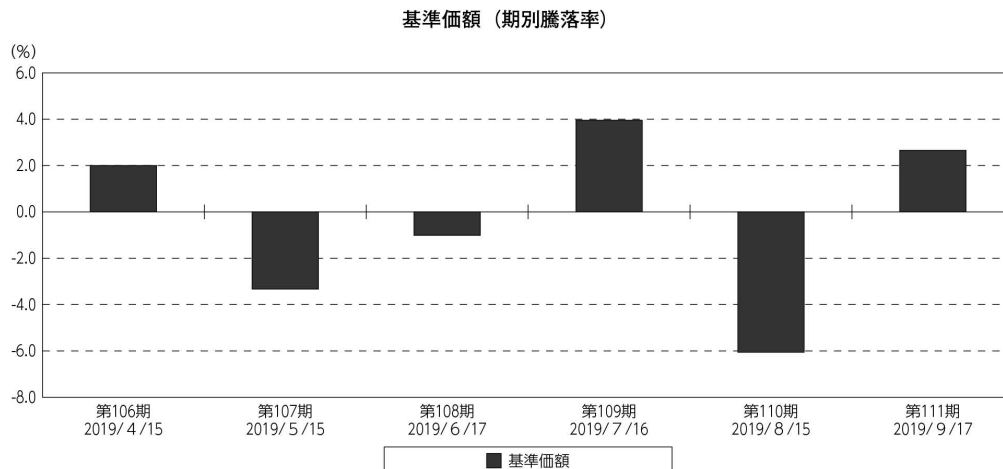
[野村マネー マザーファンド]

当作成期の運用につきましては、残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

新興国通貨建ての国際機関債の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、利子配当収入や基準価額水準等を勘案し、分配いたしました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第106期 2019年3月16日～ 2019年4月15日	第107期 2019年4月16日～ 2019年5月15日	第108期 2019年5月16日～ 2019年6月17日	第109期 2019年6月18日～ 2019年7月16日	第110期 2019年7月17日～ 2019年8月15日	第111期 2019年8月16日～ 2019年9月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.484%	20 0.504%	20 0.511%	20 0.494%	20 0.529%	20 0.518%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,354	1,368	1,381	1,397	1,411	1,427

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

【野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）】

ファンドの商品性に従い、[ノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA] 受益証券への投資比率を引き続き高位に維持していく方針です。

【ノムラ・カレンシー・ファンドスープレナショナル・ボンドークラスA】

引き続き新興国の通貨の中から、相対的に金利の高い複数の通貨を選定し、国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用を通じて、当該通貨への投資効果を追求します。

国際機関が発行する、信用力の高い債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。

・投資戦略

金利水準とファンダメンタルズ、流動性、地域分散などを勘案した上で3～6通貨に投資を行います。通貨比率は、金利水準、ファンダメンタルズ、通貨見通し等を加味して決定します。

なお、当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行う場合があります。

【野村マネー マザーファンド】

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年 3 月16日～2019年 9 月17日)

項 目	第106期～第111期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 19	% 0.483	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.137)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(13)	(0.329)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	19	0.484	
作成期間の平均基準価額は、3,908円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

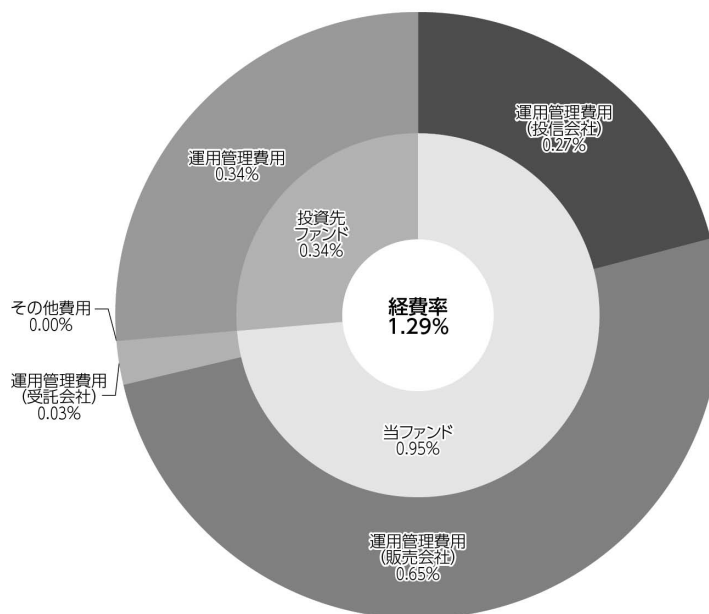
* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.29%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.29
①当ファンドの費用の比率	0.95
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.34

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2019年9月17日)

投資信託証券

銘 柄		第106期～第111期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ノムラ・カレンシー・ファンドー スープレナショナル・ボンドークラスA	口 —	千円 —	口 65,530	千円 205,010

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2019年9月17日)

利害関係人との取引状況

<野村高金利国際機関債投信（毎月分配型）>

該当事項はございません。

<野村マネー マザーファンド>

区 分	第106期～第111期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 10,446	百万円 700	% 6.7	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 0.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年9月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	第105期末	第111期末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・カレンシー・ファンドー スープレナショナル・ボンドークラスA	口 968,491	口 902,961	千円 2,700,756	% 95.8
合 計	968,491	902,961	2,700,756	95.8

*比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	第105期末	第111期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村マネー マザーファンド	千口 49,354	千口 49,354	千円 50,366

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年9月17日現在)

項 目	第111期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,700,756	94.9
野村マネー マザーファンド	50,366	1.8
コール・ローン等、その他	94,396	3.3
投資信託財産総額	2,845,518	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第106期末	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末
	2019年4月15日現在	2019年5月15日現在	2019年6月17日現在	2019年7月16日現在	2019年8月15日現在	2019年9月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,282,074,635	3,120,144,584	3,014,459,797	3,092,501,578	2,840,322,252	2,845,518,100
コール・ローン等	65,706,228	87,525,163	58,931,970	79,542,867	90,951,661	48,393,777
投資信託受益証券(評価額)	3,165,997,079	2,982,253,029	2,905,161,435	2,962,592,319	2,699,004,199	2,700,756,351
野村マネー マザーファンド(評価額)	50,371,328	50,366,392	50,366,392	50,366,392	50,366,392	50,366,392
未収入金	—	—	—	—	—	46,001,580
(B) 負債	28,435,256	22,816,635	21,617,562	36,511,115	26,280,094	25,026,610
未払収益分配金	15,838,015	15,676,103	15,378,994	15,179,558	14,961,502	14,682,641
未払解約金	9,985,489	4,655,437	3,621,669	19,029,215	9,002,991	7,961,317
未払信託報酬	2,605,715	2,479,390	2,610,875	2,296,973	2,310,300	2,377,177
未払利息	126	77	103	160	62	81
その他未払費用	5,911	5,628	5,921	5,209	5,239	5,394
(C) 純資産総額(A－B)	3,253,639,379	3,097,327,949	2,992,842,235	3,055,990,463	2,814,042,158	2,820,491,490
元本	7,919,007,851	7,838,051,807	7,689,497,413	7,589,779,394	7,480,751,232	7,341,320,886
次期繰越損益金	△4,665,368,472	△4,740,723,858	△4,696,655,178	△4,533,788,931	△4,666,709,074	△4,520,829,396
(D) 受益権総口数	7,919,007,851口	7,838,051,807口	7,689,497,413口	7,589,779,394口	7,480,751,232口	7,341,320,886口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,109円	3,952円	3,892円	4,026円	3,762円	3,842円

(注) 第106期首元本額は7,999,693,152円、第106～111期中追加設定元本額は92,815,999円、第106～111期中一部解約元本額は751,188,265円、1口当たり純資産額は、第106期0.4109円、第107期0.3952円、第108期0.3892円、第109期0.4026円、第110期0.3762円、第111期0.3842円です。

○損益の状況

項 目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	28,855,135	28,545,757	28,367,443	27,838,807	27,385,532	27,400,989
受取配当金	28,859,018	28,548,895	28,370,164	27,841,964	27,388,228	27,403,650
支払利息	△ 3,883	△ 3,138	△ 2,721	△ 3,157	△ 2,696	△ 2,661
(B) 有価証券売買損益	37,831,302	△ 133,249,520	△ 56,140,575	91,580,876	△ 208,100,890	48,584,474
売買益	37,908,446	503,928	959,800	92,424,559	1,486,509	48,641,170
売買損	△ 77,144	△ 133,753,448	△ 57,100,375	△ 843,683	△ 209,587,399	△ 56,696
(C) 信託報酬等	△ 2,611,626	△ 2,485,018	△ 2,616,796	△ 2,302,182	△ 2,315,539	△ 2,382,571
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	64,074,811	△ 107,188,781	△ 30,389,928	117,117,501	△ 183,030,897	73,602,892
(E) 前期繰越損益金	△3,542,210,785	△3,446,862,755	△3,494,842,820	△3,489,262,353	△3,332,344,969	△3,459,064,564
(F) 追加信託差損益金	△1,171,394,483	△1,170,996,219	△1,156,043,436	△1,146,464,521	△1,136,371,706	△1,120,685,083
(配当等相当額)	(239,441,352)	(239,761,199)	(236,910,816)	(235,107,365)	(233,277,101)	(230,205,159)
(売買損益相当額)	(△1,410,835,835)	(△1,410,757,418)	(△1,392,954,252)	(△1,381,571,886)	(△1,369,648,807)	(△1,350,890,242)
(G) 計(D+E+F)	△4,649,530,457	△4,725,047,755	△4,681,276,184	△4,518,609,373	△4,651,747,572	△4,506,146,755
(H) 収益分配金	△ 15,838,015	△ 15,676,103	△ 15,378,994	△ 15,179,558	△ 14,961,502	△ 14,682,641
次期繰越損益金(G+H)	△4,665,368,472	△4,740,723,858	△4,696,655,178	△4,533,788,931	△4,666,709,074	△4,520,829,396
追加信託差損益金	△1,171,394,483	△1,170,996,219	△1,156,043,436	△1,146,464,521	△1,136,371,706	△1,120,685,083
(配当等相当額)	(239,441,370)	(239,761,223)	(236,910,884)	(235,107,396)	(233,277,157)	(230,205,207)
(売買損益相当額)	(△1,410,835,853)	(△1,410,757,442)	(△1,392,954,320)	(△1,381,571,917)	(△1,369,648,863)	(△1,350,890,290)
分配準備積立金	833,379,422	832,543,345	825,467,331	825,636,429	822,374,687	817,657,156
繰越損益金	△4,327,353,411	△4,402,270,984	△4,366,079,073	△4,212,960,839	△4,352,712,055	△4,217,801,469

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2019年3月16日～2019年9月17日）は以下の通りです。

項 目	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
	2019年3月16日～ 2019年4月15日	2019年4月16日～ 2019年5月15日	2019年5月16日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月16日	2019年7月17日～ 2019年8月15日	2019年8月16日～ 2019年9月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	27,736,122円	26,076,953円	25,767,860円	27,320,383円	25,100,615円	26,567,758円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	239,441,370円	239,761,223円	236,910,884円	235,107,396円	233,277,157円	230,205,207円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	821,481,315円	822,142,495円	815,078,465円	813,495,604円	812,235,574円	805,772,039円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,088,658,807円	1,087,980,671円	1,077,757,209円	1,075,923,383円	1,070,613,346円	1,062,545,004円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	1,374円	1,388円	1,401円	1,417円	1,431円	1,447円
g. 分配金	15,838,015円	15,676,103円	15,378,994円	15,179,558円	14,961,502円	14,682,641円
h. 分配金(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第106期	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細 (2019年 9 月17日現在)

<野村マネー マザーファンド>

下記は、野村マネー マザーファンド全体（8,291,521千口）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	第111期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,346,000	1,348,003	15.9	—	—	—	15.9
	(1,346,000)	(1,348,003)	(15.9)	(—)	(—)	(—)	(15.9)
特殊債券	2,010,000	2,011,824	23.8	—	—	—	23.8
(除く金融債)	(2,010,000)	(2,011,824)	(23.8)	(—)	(—)	(—)	(23.8)
金融債券	500,000	500,216	5.9	—	—	—	5.9
	(500,000)	(500,216)	(5.9)	(—)	(—)	(—)	(5.9)
普通社債券	2,700,000	2,702,599	31.9	—	—	—	31.9
(含む投資法人債券)	(2,700,000)	(2,702,599)	(31.9)	(—)	(—)	(—)	(31.9)
合 計	6,556,000	6,562,644	77.6	—	—	—	77.6
	(6,556,000)	(6,562,644)	(77.6)	(—)	(—)	(—)	(77.6)

*（ ）内は非上場債で内書きです。
*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
*金額の単位未満は切り捨て。
*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘柄		第111期末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券		%	千円	千円	
神奈川県 公募第169回		1. 43	90, 000	90, 327	2019/12/20
大阪府 公募第330回		1. 48	116, 000	116, 044	2019/ 9 /27
大阪府 公募第331回		1. 41	100, 000	100, 160	2019/10/29
兵庫県 公募平成21年度第23回		1. 37	100, 000	100, 114	2019/10/18
静岡県 公募平成21年度第 5 回		1. 35	100, 000	100, 117	2019/10/18
広島県 公募平成21年度第 3 回		1. 41	140, 000	140, 051	2019/ 9 /25
福岡県 公募平成26年度第 4 回		0. 135	100, 000	100, 007	2019/ 9 /26
岐阜県 公募平成21年度第 1 回		1. 35	100, 000	100, 151	2019/10/28
共同発行市場地方債 公募第79回		1. 34	100, 000	100, 142	2019/10/25
広島市 公募平成21年度第 2 回		1. 35	100, 000	100, 157	2019/10/29
さいたま市 公募第 7 回		1. 34	200, 000	200, 705	2019/12/25
鹿児島県 公募（ 5 年）平成26年度第 1 回		0. 153	100, 000	100, 023	2019/10/31
小	計		1, 346, 000	1, 348, 003	
特殊債券(除く金融債)					
日本政策投資銀行社債 財投機関債第46回		0. 219	100, 000	100, 004	2019/ 9 /20
日本政策投資銀行社債 財投機関債第67回		0. 001	100, 000	100, 000	2019/ 9 /20
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第53回		1. 38	400, 000	400, 048	2019/ 9 /20
地方公共団体金融機構債券 第 6 回		1. 518	460, 000	461, 335	2019/11/28
首都高速道路 第14回		0. 273	420, 000	420, 298	2019/12/20
阪神高速道路 第15回		0. 01	200, 000	200, 012	2019/12/20
国際協力銀行債券 第16回財投機関債		2. 07	100, 000	100, 016	2019/ 9 /20
中日本高速道路社債 第58回		0. 182	230, 000	230, 108	2019/12/20
小	計		2, 010, 000	2, 011, 824	
金融債券					
農林債券 利付第773回い号		0. 24	300, 000	300, 082	2019/10/25
農林債券 利付第775回い号		0. 23	200, 000	200, 134	2019/12/27
小	計		500, 000	500, 216	
普通社債券(含む投資法人債券)					
中部電力 第492回		1. 405	350, 000	350, 507	2019/10/25
東北電力 第452回		1. 405	100, 000	100, 380	2019/12/25
九州電力 第423回		0. 959	100, 000	100, 021	2019/ 9 /25
北海道電力 第319回		0. 514	550, 000	550, 077	2019/ 9 /25
三菱東京UFJ 銀行 第110回特定社債間限定同順位特約付		1. 485	400, 000	400, 465	2019/10/16
日立キャピタル 第45回社債間限定同順位特約付		0. 666	100, 000	100, 159	2019/12/20
三菱UFJ リース 第26回社債間限定同順位特約付		0. 441	200, 000	200, 159	2019/11/21
三井不動産 第37回社債間限定同順位特約付		1. 493	100, 000	100, 371	2019/12/20
東京急行電鉄 第69回社債間限定同順位特約付		1. 7	200, 000	200, 339	2019/10/25
東海旅客鉄道 第16回社債間限定同順位特約付		1. 875	600, 000	600, 117	2019/ 9 /20
小	計		2, 700, 000	2, 702, 599	
合	計		6, 556, 000	6, 562, 644	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	第111期末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 699, 994	% 8. 3

* 比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
* 金額の単位未満は切り捨て。

ノムラ・カレンシー・ファンドースープラナショナル・ボンドークラスA

2019年1月31日決算

(計算期間：2018年2月1日～2019年1月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運 用 方 針	国際機関債等への投資および為替予約取引等の活用により、インカムゲインの確保とキャピタルゲインの獲得を目指します。 投資対象とする債券は、主として、投資時点において、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の格付が付与されている国際機関債(発行体である国際機関が、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の格付を受けている場合も含みます。)とします。 なお、Aaa格(Moody's社)またはAAA格(S&P社)の国債に投資する場合があります。
投 資 対 象	国際機関が発行する、信用力の高い、世界の国(新興国を含みます。)の通貨建ての債券
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投 資 顧 問 会 社	野村アセットマネジメント株式会社
副投資顧問会社	ノムラ・アセット・マネジメントU.K. リミテッド
管理事務代行会社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書
2019年1月31日に終了する計測期間
(米ドル)

収益

銀行口座利息	14,301
債券利息(源泉徴収税控除後)	1,397,838

収益合計	1,412,139
------	-----------

費用

投資顧問報酬	85,272
管理費用	17,048
保管費用	10,542
当座借越利息	3,205
取引銀行報酬	2,410
銀行手数料	22,080
受託報酬	6,821
法務報酬	3,293
立替費用	1,704
専門家報酬	20,727
雑費用	99

費用合計	173,201
------	---------

純投資損益	1,238,938
--------------	------------------

投資有価証券売買に係る損益	(7,106,448)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	(302,609)

当期実現純損益	(7,409,057)
----------------	--------------------

投資有価証券評価差損益	1,587,016
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	(686,665)

当期評価差損益	900,351
----------------	----------------

運用の結果による純資産の増減額	(5,269,768)
------------------------	--------------------

組入資産明細
2019年1月31日現在
(米ドル)

通貨	額面*	銘柄	評価額	投資比率(%)
ルクセンブルグ				
普通社債(固定金利債)				
USD	3,150,000	EIB 1.625% 16/03/20	3,115,495	10.38
			3,115,495	10.38
		ルクセンブルグ計	3,115,495	10.38
国際機関				
普通社債(固定金利債)				
USD	4,000,000	EURO BK RECON 1.1250% 24/08/20	3,910,204	13.04
ZAR	50,000,000	EUROPEAN INVT 7.5000% 10/09/20	3,779,865	12.61
MXN	60,000,000	EUROPEAN INVT 4.0000% 25/02/20	2,984,513	9.95
MXN	41,000,000	INT BK RECON& 7.5000% 05/03/20	2,122,497	7.07
ZAR	14,500,000	EUROPEAN INVT 6.0000% 21/10/19	1,077,443	3.59
ZAR	17,000,000	INT BK RECON&DEV 0% 02/08/23	867,632	2.89
MXN	15,000,000	INT BK RECON&DEV 5.2500% 17/10/19	760,069	2.53
ZAR	10,000,000	AFRICAN DEV B 0.5000% 26/10/21	606,677	2.02
			16,108,900	53.70
		国際機関計	16,108,900	53.70
イギリス				
普通社債(固定金利債)				
BRL	15,000,000	ERBD 7.5% 16/12/19	4,116,425	13.72
			4,116,425	13.72
		イギリス計	4,116,425	13.72
アメリカ				
普通社債(固定金利債)				
BRL	16,500,000	INTL FINANCE CORP 11.5% 30/10/20	4,810,380	16.03
			4,810,380	16.03
		アメリカ計	4,810,380	16.03
組入資産合計			28,151,200	93.83

*額面は発行通貨建て表示

外国為替先渡し契約

2019年1月31日現在

通貨(買い)		通貨(売り)		満期	未実現損益(米ドル)
ZAR	49,000,000	USD	3,505,039	February 14, 2019	158,392
MXN	75,000,000	USD	3,892,983	February 14, 2019	26,238
BRL	2,600,000	USD	685,934	March 06, 2019	17,825
					<u>202,455</u>

野村マネー マザーファンド

運用報告書

第17期（決算日2019年8月19日）

作成対象期間（2018年8月21日～2019年8月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の公社債等に投資を行い、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
13期(2015年 8 月19日)	10, 206		0. 1	44. 7	—	22, 034
14期(2016年 8 月19日)	10, 211		0. 0	68. 6	—	19, 722
15期(2017年 8 月21日)	10, 208		△0. 0	64. 0	—	17, 754
16期(2018年 8 月20日)	10, 206		△0. 0	38. 7	—	13, 511
17期(2019年 8 月19日)	10, 205		△0. 0	59. 3	—	8, 458

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

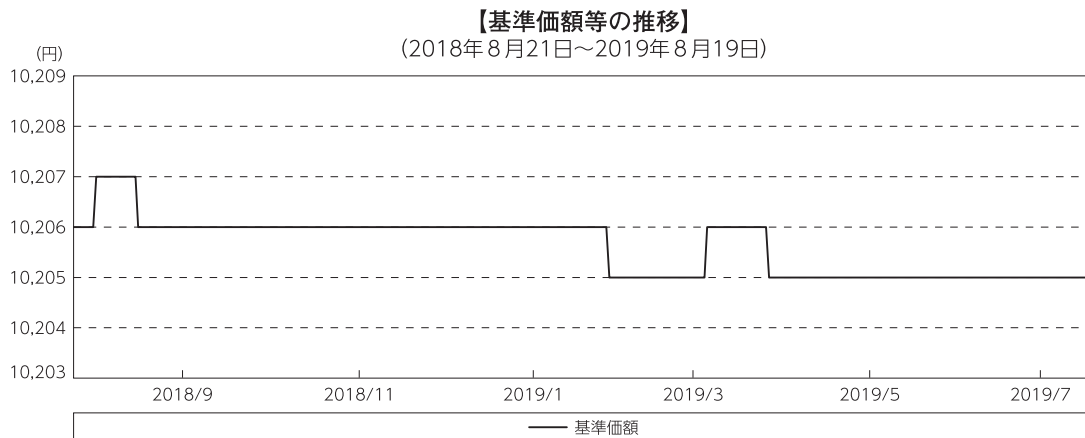
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2018年 8 月20日	円 10, 206		% —	% 38. 7	% —
8 月末	10, 207		0. 0	40. 6	—
9 月末	10, 206		0. 0	52. 5	—
10 月末	10, 206		0. 0	53. 1	—
11 月末	10, 206		0. 0	41. 5	—
12 月末	10, 206		0. 0	51. 0	—
2019年 1 月末	10, 206		0. 0	51. 1	—
2 月末	10, 205		△0. 0	55. 7	—
3 月末	10, 205		△0. 0	64. 2	—
4 月末	10, 205		△0. 0	54. 0	—
5 月末	10, 205		△0. 0	65. 5	—
6 月末	10, 205		△0. 0	61. 8	—
7 月末	10, 205		△0. 0	57. 8	—
(期 末) 2019年 8 月19日	10, 205		△0. 0	59. 3	—

* 騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券やコール・ローンなどのマイナス金利環境を要因とする支払利息等。

○投資環境

国内経済は、高水準にある企業収益や雇用・所得環境の改善継続等を背景に、緩やかな回復基調が続いたものの、海外経済の減速から輸出や生産に弱含みの動きもみられました。

このような中、日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、2019年4月には「政策金利のフォワードガイダンス」をより明確に示すため、少なくとも2020年春頃まで現在のきわめて低い長短金利の水準を維持することとしました。

マイナス金利政策のもと、T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは、2018年9月まで概ね-0.1%台で推移し、10月以降は良好な円調達環境を受け海外投資家等買い進まれ-0.3%台まで低下、その後期末にかけては-0.1%台まで上昇しました。また、無担保コール翌日物金利は期を通して概ね-0.06～-0.07%程度で推移しました。

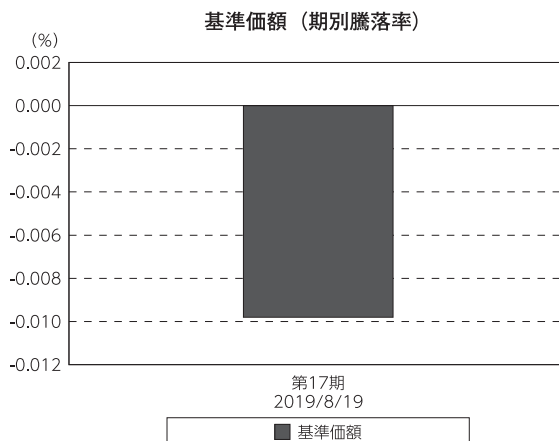
○当ファンドのポートフォリオ

残存1年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

残存１年以内の公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせてコール・ローン等で運用を行なうことで流動性の確保を図って運用いたします。

日本銀行によるマイナス金利政策のもと、主要な投資対象となる公社債の利回りや余資運用の際のコール・ローンの金利もマイナスとなる中、マイナス利回りの資産への投資等を通じて、基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○１万口当たりの費用明細

(2018年８月21日～2019年８月19日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年８月21日～2019年８月19日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	6,812,723	6,812,701
	地方債証券	2,994,475	—
	特殊債券	5,906,659	—
	社債券（投資法人債券を含む）	11,495,778	—
			(10,167,000)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	4,699,986	—
			(8,600,000)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月21日～2019年8月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 20,396	百万円 1,141	% 5.6	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2019年8月19日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	1,156,000	1,157,903	13.7	—	—	—	13.7
	(1,156,000)	(1,157,903)	(13.7)	(—)	(—)	(—)	(13.7)
特殊債券 (除く金融債)	700,000	700,671	8.3	—	—	—	8.3
	(700,000)	(700,671)	(8.3)	(—)	(—)	(—)	(8.3)
金融債券	350,000	350,021	4.1	—	—	—	4.1
	(350,000)	(350,021)	(4.1)	(—)	(—)	(—)	(4.1)
普通社債券 (含む投資法人債券)	2,800,000	2,804,925	33.2	—	—	—	33.2
	(2,800,000)	(2,804,925)	(33.2)	(—)	(—)	(—)	(33.2)
合 計	5,006,000	5,013,521	59.3	—	—	—	59.3
	(5,006,000)	(5,013,521)	(59.3)	(—)	(—)	(—)	(59.3)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券		%	千円	千円	
大阪府	公募第330回	1.48	116,000	116,173	2019/9/27
大阪府	公募第331回	1.41	100,000	100,269	2019/10/29
兵庫県	公募平成21年度第23回	1.37	100,000	100,218	2019/10/18
静岡県	公募平成21年度第4回	1.56	100,000	100,007	2019/8/20
静岡県	公募平成21年度第5回	1.35	100,000	100,222	2019/10/18
広島県	公募平成21年度第3回	1.41	140,000	140,196	2019/9/25
福岡県	公募平成26年度第4回	0.135	100,000	100,016	2019/9/26
岐阜県	公募平成21年度第1回	1.35	100,000	100,256	2019/10/28
共同発行市場地方債 公募第79回		1.34	100,000	100,246	2019/10/25
広島市	公募平成21年度第2回	1.35	100,000	100,262	2019/10/29
鹿児島県	公募（5年）平成26年度第1回	0.153	100,000	100,034	2019/10/31
小	計		1,156,000	1,157,903	
特殊債券(除く金融債)					
日本政策投資銀行社債	財投機関債第46回	0.219	100,000	100,020	2019/9/20
日本政策投資銀行社債	財投機関債第67回	0.001	100,000	100,000	2019/9/20
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第53回	1.38	400,000	400,478	2019/9/20
国際協力銀行債券	第16回財投機関債	2.07	100,000	100,172	2019/9/20
小	計		700,000	700,671	
金融債券					
商工債券	利付第771回い号	0.2	350,000	350,021	2019/8/27
小	計		350,000	350,021	
普通社債券(含む投資法人債券)					
中部電力	第492回	1.405	350,000	350,881	2019/10/25
東北電力	第452回	1.405	100,000	100,489	2019/12/25
九州電力	第423回	0.959	100,000	100,093	2019/9/25
北海道電力	第319回	0.514	550,000	550,281	2019/9/25
三菱東京UFJ銀行	第110回特定社債間限定同順位特約付	1.485	400,000	400,898	2019/10/16
三菱UFJリース	第26回社債間限定同順位特約付	0.441	200,000	200,224	2019/11/21
三井不動産	第37回社債間限定同順位特約付	1.493	100,000	100,484	2019/12/20
東京急行電鉄	第69回社債間限定同順位特約付	1.7	200,000	200,594	2019/10/25
東海旅客鉄道	第16回社債間限定同順位特約付	1.875	600,000	600,959	2019/9/20
電源開発	第28回社債間限定同順位特約付	1.474	200,000	200,017	2019/8/20
小	計		2,800,000	2,804,925	
合	計		5,006,000	5,013,521	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 499,996	% 5.9

*比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 5,013,521	% 59.3
その他有価証券	499,996	5.9
コール・ローン等、その他	2,944,648	34.8
投資信託財産総額	8,458,165	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,458,165,584
コール・ローン等	2,925,096,627
公社債(評価額)	5,013,521,293
その他有価証券	499,996,087
未収利息	7,780,208
前払費用	11,771,369
(B) 負債	4,506
未払利息	4,506
(C) 純資産総額(A－B)	8,458,161,078
元本	8,288,568,727
次期繰越損益金	169,592,351
(D) 受益権総口数	8,288,568,727口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,205円

(注) 期首元本額は13,238,234,160円、期中追加設定元本額は505,769,218円、期中一部解約元本額は5,455,434,651円、1口当たり純資産額は1.0205円です。

○損益の状況 (2018年8月21日～2019年8月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	46,233,836
受取利息	48,231,124
支払利息	△ 1,997,288
(B) 有価証券売買損益	△ 48,206,310
売買損	△ 48,206,310
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 1,972,474
(D) 前期繰越損益金	273,342,594
(E) 追加信託差損益金	10,418,721
(F) 解約差損益金	△112,196,490
(G) 計(C＋D＋E＋F)	169,592,351
次期繰越損益金(G)	169,592,351

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末 元本額
	円
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド30(非課税適格機関投資家専用)	5,129,840,665
ノムラスマートプレミアムファンドハイブリッド50(適格機関投資家販売制限付)	2,050,866,611
野村日経225ターゲット(公社債運用移行型)Dプライス(適格機関投資家専用)	424,221,200
野村世界高金利通貨投信	151,953,753
野村日本ブランド株投資(マネーボールファンド)年2回決算型	104,556,769
ノムラ・アジア・シリーズ(マネーボール・ファンド)	96,909,215
野村DC運用戦略ファンド	85,180,134
野村高金利国際機関債投信(毎月分配型)	49,354,623
ネクストコア	19,922,154

ファンド名	当期末 元本額
	円
野村世界業種別投資シリーズ(マネーボール・ファンド)	10,607,461
野村DC運用戦略ファンド(マイルド)	7,492,405
第12回 野村短期公社債ファンド	6,664,982
第9回 野村短期公社債ファンド	5,094,831
第2回 野村短期公社債ファンド	3,919,169
第1回 野村短期公社債ファンド	3,037,421
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(マネーボールファンド)年2回決算型	2,551,759
野村新エマージング債券投信(マネーボールファンド)年2回決算型	2,513,115
第5回 野村短期公社債ファンド	1,959,729

ファンド名	当期末
	元本額
	円
第10回 野村短期公社債ファンド	1,959,728
第11回 野村短期公社債ファンド	1,861,757
第3回 野村短期公社債ファンド	1,371,897
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(マザーファンド) 年2回決算型	1,230,043
第4回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
第6回 野村短期公社債ファンド	1,077,981
野村グローバルCB投信(マザーファンド) 年2回決算型	996,807
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(資源国通貨コース) 毎月分配型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース) 毎月分配型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース) 毎月分配型	984,834
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース) 年2回決算型	984,834
野村グローバル・ハイ・イールド債券投信(アジア通貨コース) 年2回決算型	984,834
野村グローバルCB投信(円コース) 毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース) 毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース) 毎月分配型	984,543
野村グローバルCB投信(円コース) 年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(資源国通貨コース) 年2回決算型	984,543
野村グローバルCB投信(アジア通貨コース) 年2回決算型	984,543
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース) 毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース) 毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(円コース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(豪ドルコース) 年2回決算型	984,252
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	984,252
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,768
野村米国ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,768
野村米国ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,768
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 毎月分配型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(円コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(資源国通貨コース) 年2回決算型	983,672
ノムラ・グローバルトレンド(アジア通貨コース) 年2回決算型	983,672
野村テンブルトン・トータル・リターン Aコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Cコース	983,381
野村テンブルトン・トータル・リターン Dコース	983,381
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	983,091
野村グローバル高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	983,091
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村アジアハイ・イールド債券投信(アジア通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,898
野村豪ドル債オープン・プレミアム毎月分配型	982,801
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(欧州通貨コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(円コース)	982,609
欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド(豪ドルコース)	982,609
野村日本ブランド株投資(円コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,609
野村日本ブランド株投資(資源国通貨コース) 年2回決算型	982,609
野村日本ブランド株投資(アジア通貨コース) 年2回決算型	982,609

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,609
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,609
野村新世界高金利通貨投資	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村日本ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(豪ドルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 年2回決算型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 毎月分配型	982,608
野村新米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース) 毎月分配型	982,608
野村新エマージング債券投信(円コース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	982,608
野村新エマージング債券投信(中国元コース) 年2回決算型	982,608
野村アジアCB投信(毎月分配型)	982,608
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(円コース) 年2回決算型	982,608
野村グローバルREITプレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,608
野村日本ブランド株投資(トルコリラコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース) 毎月分配型	982,607
野村新エマージング債券投信(中国元コース) 毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース) 毎月分配型	982,607
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース) 毎月分配型	982,607
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,415
野村日本高配当株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,415
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 毎月分配型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(円コース) 年2回決算型	982,029
野村高配当インフラ関連株プレミアム(通貨セレクトコース) 年2回決算型	982,029
野村カルミニャック・ファンド Aコース	981,547
野村カルミニャック・ファンド Bコース	981,547
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	981,451
野村通貨選択日本株投信(米ドルコース) 年2回決算型	981,451
野村エマージング債券プレミアム毎月分配型	981,451
野村エマージング債券プレミアム年2回決算型	981,451
ノムラ THE USA Aコース	981,258
ノムラ THE USA Bコース	981,258
野村グローバルボンド投信 Bコース	980,489
野村グローバルボンド投信 Dコース	980,489

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村グローバルボンド投信 Fコース	980,489
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 毎月分配型	980,297
野村高配当インフラ関連株ファンド(米ドルコース) 年2回決算型	980,297
ノムラ THE ASIA Bコース	979,912
グローバル・ストック Bコース	979,528
グローバル・ストック Dコース	979,528
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 毎月分配型	946,340
野村通貨選択日本株投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	774,485
第7回 野村短期公社債ファンド	686,093
野村豪ドル債オープン・プレミアム年2回決算型	491,401
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 毎月分配型	315,476
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース) 毎月分配型	277,875
野村通貨選択日本株投信(豪ドルコース) 年2回決算型	253,829
野村通貨選択日本株投信(ブラジルレアルコース) 年2回決算型	213,673
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース) 毎月分配型	123,377
野村通貨選択日本株投信(インドルピーコース) 年2回決算型	118,445
野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,262
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース) 毎月分配型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 年2回決算型	98,261
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース) 毎月分配型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村新米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 毎月分配型	98,261
野村新エマージング債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村新エマージング債券投信(インドネシアルピアコース) 年2回決算型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース) 毎月分配型	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(米ドルコース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(円コース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(資源国通貨コース) 年2回決算型	98,261
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(アジア通貨コース) 年2回決算型	98,261
野村米国ブランド株投資(円コース) 毎月分配型	98,261
野村テンブルトン・トータル・リターン Bコース	98,261
野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投信(通貨セレクトコース) 年2回決算型	98,261
第8回 野村短期公社債ファンド	98,261
野村米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,260
野村日本ブランド株投資(南アフリカランドコース) 年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	98,260
野村新米国ハイ・イールド債券投信(トルコリラコース) 年2回決算型	98,260
野村新エマージング債券投信(豪ドルコース) 年2回決算型	98,260
ノムラ THE EUROPE Aコース	98,117
ノムラ THE EUROPE Bコース	98,117
野村グローバルボンド投信 Aコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Cコース	98,049
野村グローバルボンド投信 Eコース	98,049
ノムラ THE ASIA Aコース	97,992
グローバル・ストック Aコース	97,953
グローバル・ストック Cコース	97,953

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース) 毎月分配型	54,497
野村通貨選択日本株投信(中国元コース) 年2回決算型	51,703
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース) 毎月分配型	48,092
野村通貨選択日本株投信(トルコリラコース) 年2回決算型	43,905
野村通貨選択日本株投信(中国元コース) 毎月分配型	41,316
野村通貨選択日本株投信(インドネシアルピアコース) 年2回決算型	36,381
野村通貨選択日本株投信(ロシアルーブルコース) 年2回決算型	13,741
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA向け)	10,000
野村米国ハイ・イールド債券投信(ユーロコース) 年2回決算型	9,826
野村新エマージング債券投信(南アフリカランドコース) 年2回決算型	9,826
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Aコース	9,818
野村DCテンブルトン・トータル・リターン Bコース	9,818
野村日本ブランド株投資(米ドルコース) 毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,809
野村日本ブランド株投資(米ドルコース) 年2回決算型	9,809
野村日本ブランド株投資(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,809
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,808
野村アジアハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,808
野村米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,808
野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 毎月分配型	9,807
野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 年2回決算型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,807
野村PIMCO新興国インフラ関連債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,807
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 毎月分配型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(米ドルコース) 年2回決算型	9,805
野村新米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース) 年2回決算型	9,805
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース) 毎月分配型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(円コース) 年2回決算型	9,803
野村高配当インフラ関連株ファンド(通貨セレクトコース) 年2回決算型	9,803
野村新興国高配当株トリプルウイング ブラジルレアル毎月分配型	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(円コース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(米ドルコース)	9,803
ビムコ・世界インカム戦略ファンド(世界通貨分散コース)	9,803
ノムラ新興国債券ファンズ(野村SMA・EW向け)	9,801
野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)	9,801
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり) 毎月分配型	9,797
野村PIMCO米国投資適格債券戦略ファンド(為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Aコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Bコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Cコース	9,797
野村ウエスタン・世界債券戦略ファンド Dコース	9,797
野村ファンドラップ債券プレミア	9,795
野村ファンドラップオルタナティブプレミア	9,795
野村グローバル・クオリティ・グロース Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村グローバル・クオリティ・グロース Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォカス株式 Aコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村MFSグローバル・リサーチ・フォカス株式 Bコース(野村SMA・EW向け)	9,794
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース) 年2回決算型	4,908
野村通貨選択日本株投信(ユーロコース) 毎月分配型	1,813

〇お知らせ

該当事項はございません。

＜お申し込み時の留意点＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2019年9月17日現在)

年 月	日
2019年9月	—
10月	—
11月	1、11、28
12月	24、25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。